

富士見市防災環境カルテ
榎町地域(水谷第3町会) 位置番号 44

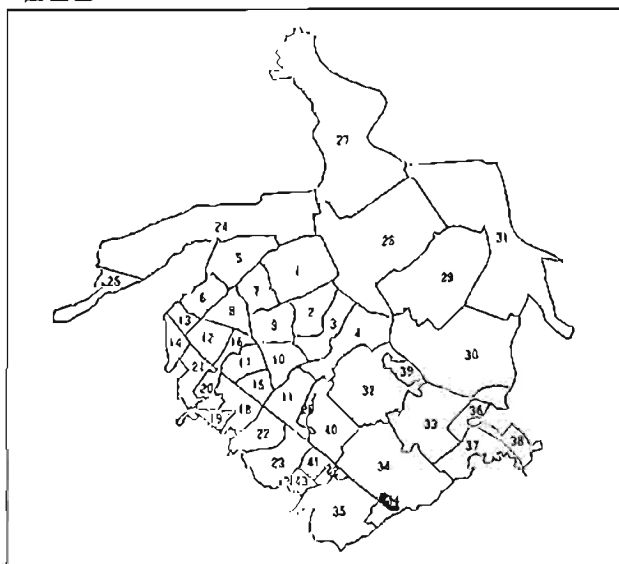
・概況

榎町地域は、富士見市の南部に位置し、地域全体が低地(谷底平野)で形成されている。北西側に東武東上線が通り、北側に主要地方道浦和・所沢線(国道254号線)が通っている。この国道254号線に面して、東武鉄道柳瀬川受電所がある。両側は、柳瀬川に面し、集合住宅を中心とする住宅地で、東側は水田地帯に面している。環境は、田園と柳瀬川に囲まれた良好な地域である。

水害は、水害履歴から灌漑用水路からの溢水のため地域内の一部水田の冠水が予想される。地震災害の危険性は低いと予想される。

しかし、高層建物で人口密度も高いことから防災について多面的な対策を必要としている。

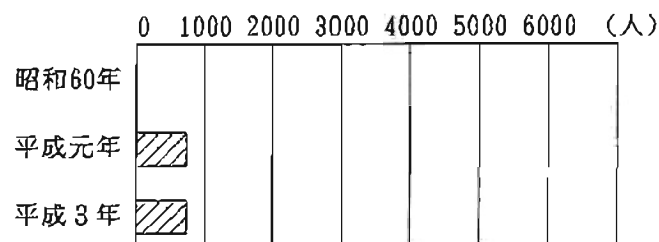
・位置図



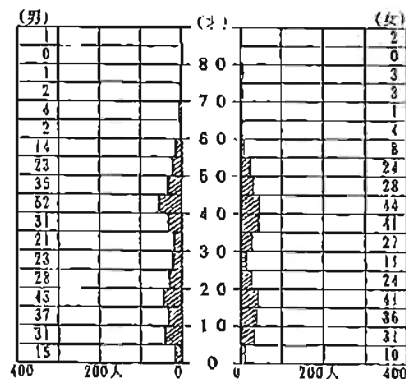
1. 基礎指標

・面積	0.022km ²
・人口(平成3年10月1日現在)	男 331人 女 366人 計 697人
・人口密度	31,863.6人/km ²
・寝たきり老人数	0人
・ひとり暮らし老人数	0人
・世帯数	213世帯

・人口推移



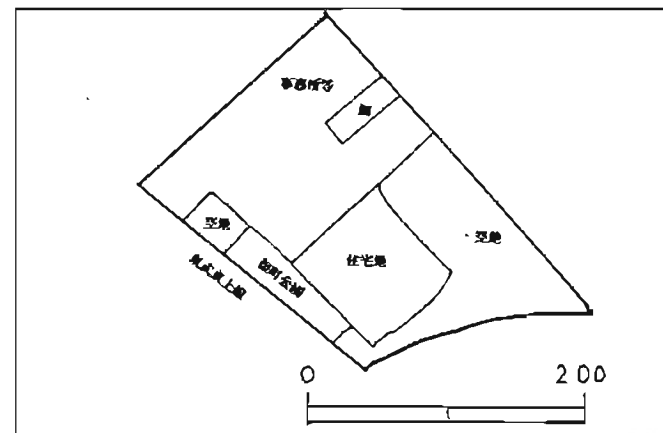
・年齢別人口(平成3年)



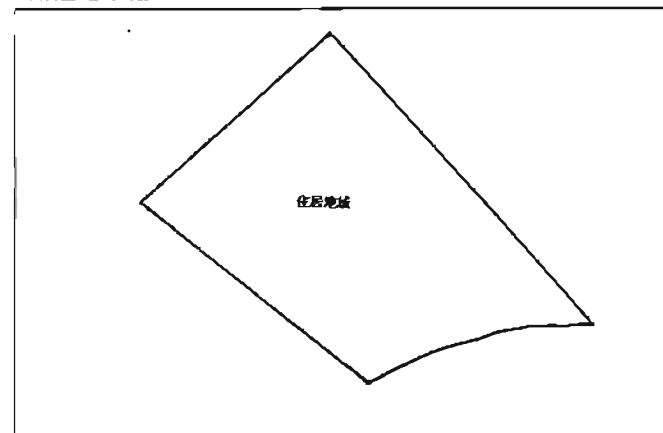
・商住工混在率住居系	98.3%
・店舗系	0%
・工業系	1.7%

富士見市防災環境カルテ
榎町地域(水谷第3町会) 位置番号 44

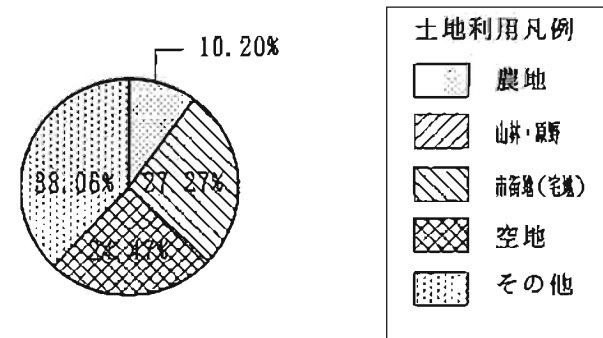
・町会現況図



・用途地域図



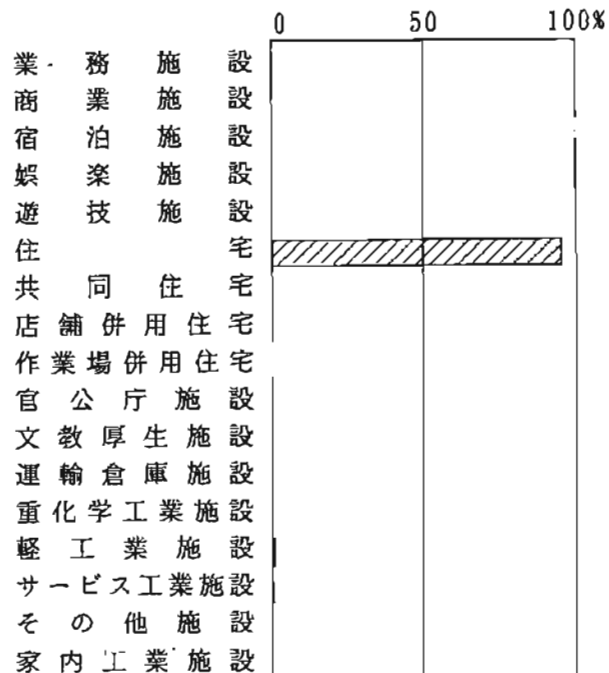
・土地利用現況



2. 建物指標

・建物棟数	224棟	
木造建物	2棟	
非木造建物	222棟	
・建物面積	2,658.50㎡	
木造建物	91.98㎡	
非木造建物	2,566.52㎡	
※建物面積は1階の面積		
・住宅率	97.3%	
・木造率	0.9% (2棟)	
・昭和34年以前の木造家屋棟数	0棟	
・同上率	0%	
・建物階層別現況(木造建物)		
1階	2棟	100.0%
2階以上	0棟	0%

・建物用途別現況



3. 道路空地指標

・道路率	10本	454.5本/㎢
・幹線道路率	2本	90.9本/㎢
・公共空地面積	2,000.0㎡	
・公共空地率	9.1%	
・1人あたり公共空地	2.9㎡/人	
・公共空地内容(*指定避難所)		
名称	面積	
1. 高校	0㎡	
2. 中学校	0㎡	
3. 小学校	0㎡	
4. 公園	0㎡	
5. 榎町公園	2,000.0㎡	

4. 消防指標

所轄消防署	入間東部地区消防組合富士見消防署 応援協定 所沢市、川越地区消防組合、 新座市、志木市各消防本部
・消火栓本数	5本
・1消火栓あたり世帯数	43.2世帯/本
・消防水利貯水施設数	1 (1) か所 ()内は容量40トン以上の施設数
・消防団機械器具置場	0

5. 危険物指標

・給油取扱所	2か所
・一般取扱所	0か所
・屋内・屋外(タンク)貯蔵所	0か所
・地下タンク貯蔵所	0か所

6. 既往災害

・家屋浸水被害	床下	床上	道路冠水
昭和 年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
年 月()	棟	棟	か所
・崖崩れ被害(年 ~ 年)	0件		
・火災出火件数(年 ~ 年)	0件		
・1923関東大地震被害			
家屋全壊	0戸		
家屋半壊	0戸		
被害率	0%		

7. 防災基盤施設

消防	0か所	
病院	0か所	
医 院	0か所	
休日診療所	0か所	
警 察	0か所	警察署 派出所
水防施設 その他の施設	0か所	
・自主防災組織(数)	0	
・自主防災組織参加世帯率	0%	
・飲用井戸本数	0本	

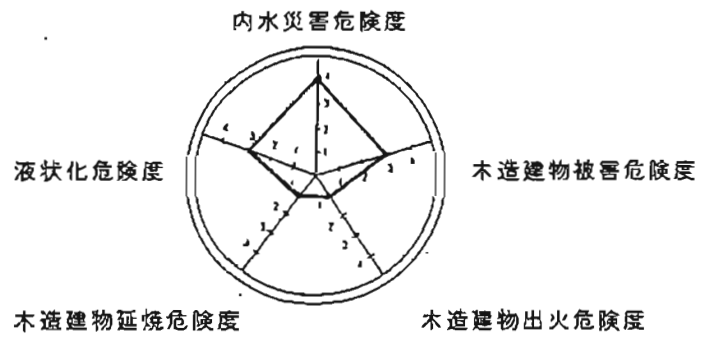
8. 危険度評価

・内水災害危険度	4ランク
・外水災害危険度	0ランク
・土砂災害危険度	0ランク
・木造建物被害危険度	3ランク
・木造建物出火危険度	1ランク
・木造建物延焼危険度	1ランク

地盤危険度	地震動危険度	4ランク
液状化危険度	液状化危険度	3ランク

※ 危険度評価ランク

危険度	無	微	小	中	大
ランク	0	1	2	3	4



※ 想定震度 6(+) (烈震(強))

9. 地盤条件

地盤は、地域全体が低地(谷底平野)で軟らかい。地盤は、震度6(+) (烈震の強い方)が予測される。

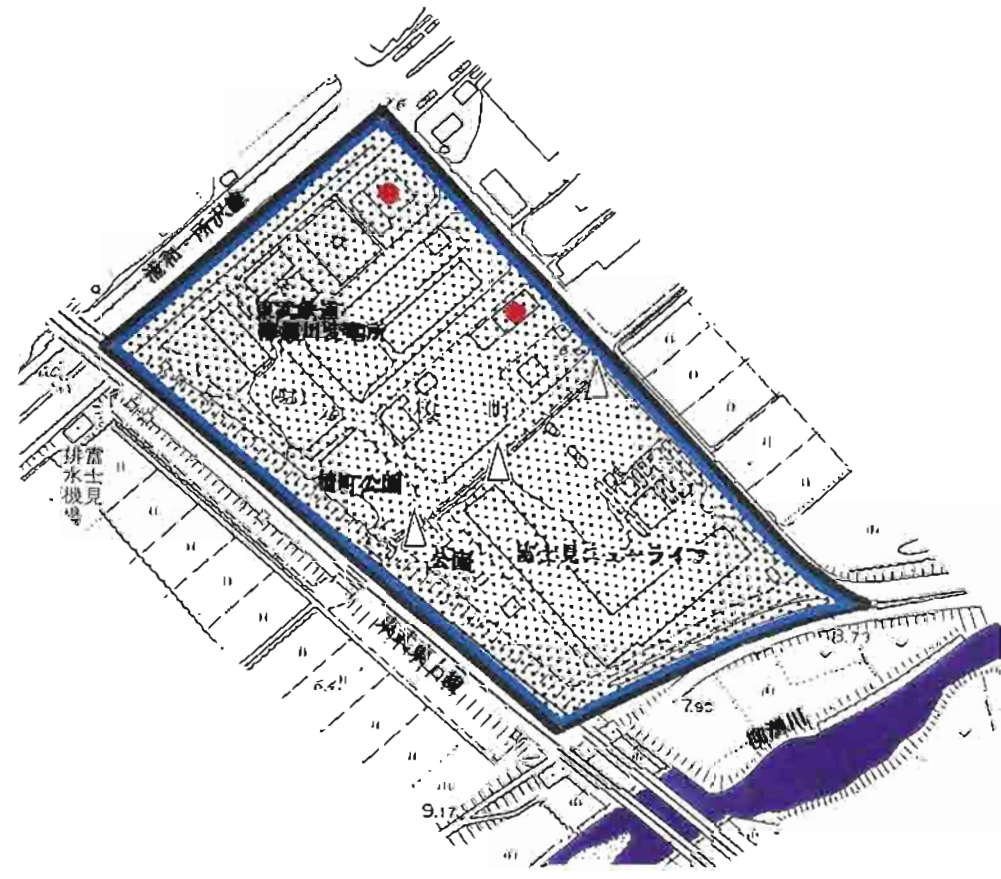
10. 問題点の整理

災害発生要因		災害抑止要因	
1. 内水災害	灌漑用水路からの溢水のため地域内の一部水田が冠水する。	1. 水防能力	水防施設は無い。
2. 外水災害	少ない。	2. 防災組織	無い。
3. 倒壊危険	地盤条件が悪いので木造建物の倒壊の危険性がやや高いと予想される。	3. 消防能力	やや高い。
4. 出火危険	出火の危険性は低いと予想される。	4. 防火能力	主として不燃化集合住宅が占有しているため防火能力は高い。
5. 延焼危険	延焼の危険性は低いと予想される。	5. 避難収容力	指定避難所は無い。 地震災害の危険性は低いと予想される。避難所は、最寄りの針ヶ谷小学校(水谷第4町会)、水谷中学校、水谷東小学校(水谷第2町会)を共用する。
6. その他の災害	液状化の危険性は低いと予想される。		

11. 解決の方向性

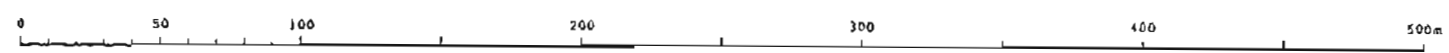
灌漑用水路の溢水の要因は、台風に伴う大雨により柳瀬川と新河岸川への非出流量(排水能力)に問題がある。したがって、これら河川の治水対策(新河岸川総合治水対策事業(県))を踏まえて、台地(他の地域)や幹線道路の側溝から灌漑用水路へ流入する雨水の流出抑制施設などの予防対策を図ることが望ましい。
 東武鉄道柳瀬川受電所は、灌漑用水路からの溢水、または、柳瀬川の越流のため、浸水が予想されるので、排水設備の点検整備等の予防対策指導が望まれる。
 また、高層建物の防災対策・地震対策として、①中・高層建築物の不燃化 ②火気設備及び火気管理の規制 ③防災設備の集中管理 ④避難計画 ⑤工作物の安全性などの対策指導が望ましい。人口の増加、中・高層化により住民のコミュニティの不足が予想されるため、住民相互が協力しあう防災組織化が必要と思われる。

防災現況図A(災害発生要因)

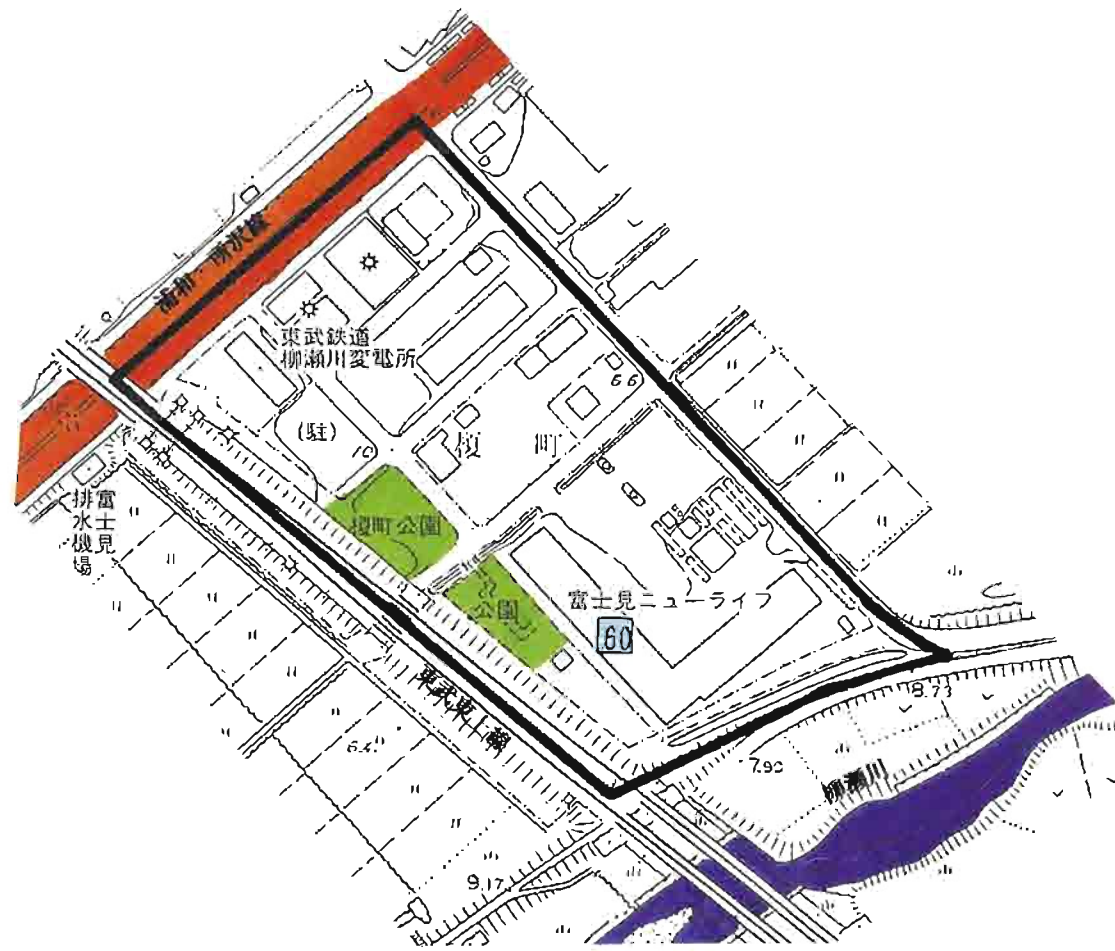


凡 例	
●	給油取扱所
■	一般取扱所
⚠	危険物屋内タンク貯蔵所
⚠	危険物屋外タンク貯蔵所
⚠	危険物地下タンク貯蔵所
▲	L P G 充 填 所
△	橋
▽	横断歩道橋
△	立体交差
■	木造家屋密集地域
—	河川・水面
⚠	急傾斜地崩壊危険区域
●	盛 土
□	浅い谷・低地(谷底平野)

既往浸水域(平成3年台風18号)	
■	田の浸水地域
■	田の被害区域
■	畑の被害区域
■	床上浸水地域
■	床下浸水地域



防災現況図B(災害抑止要因)



凡 例	
	消防署・出張所
	消防団機械器具置場
	水 防 施 設
	防火水槽・プール
	警察署・派出所・駐在所
	市役所・出張所・公民館
	防災行政用無線子局位置
	コミュニティ・集会施設
	保健所・保健センター
	病 院
	医 院
	休 日 診 療 所
	指 定 避 難 所
	公 園
	河 川 ・ 水 面
	避 難 可 能 な 道 路
	幅員12m以上の道路
	幅員12m以上の道路 (計画中)
	学 校 (小・中・高)
	空地・水田・畑

